

四旬節第二主日ミサ 固有唱

神は、われらの聖徳を望み給う。その聖徳とは、神の思召しに一致することに他ならない。これが、本日の典礼の教えるところである。ゆえに、完徳に至ろうとする者にとって、神の思召しを知ることを大切である。

パウロは、神の思召しのあらわれとして、聖徳の手段として、神の掟を記憶させる。＜書簡＞天の御父は、キリストを指示して「彼のいう所を聞け」と仰せられる。キリストはまず、自分の手本と教えとによって神の思召しを我らに示し給うた。

キリストは、福音と教会とによって、道と真理とを教え続けたもう。

御変容の奇跡は、われらに、勝まで戦えと教える。

詩編 24.6,3,22

入祭唱（聖歌隊が歌う）

REMINISCERE miseratiónum tuárum,
Dómine, et misericórdiæ tuæ, quæ a
sæculo sunt: ne umquam dominéntur nobis
inimíci nostri: líbera nos, Deus Israë́l, ex
omnibus angústíis nostris.

Ps. 24. 1-2

Ad te, Dómine, levávi ánimam meam,
Deus meus, in te confído, non erubéscam.

V. Glória Patri.

主よ、永遠なる主の慈悲と寛容とを思いたまえ。敵が我らに勝つことを、許したもうな。イスラエルの神よ、われらを患難より救い出したまえ。

主よ、主にわが心をあげ奉る。神よ、主に信賴する私をはずかしめたもうな。

願わくは、聖父と……

DEUS, qui cónspicis omni nos virtúte
destítui: intérius exteriúsque custódi; ut ab
ómnibus adversitátibus muniámur in
córpo-re, et a pravis cogitátiónibus
mundémur in mente. Per Dóminum.

1 テサロニケ 4.1-7

FRATRES: Rogámus vos et obsecrámus in
Dómino Jesu, ut, quemádmódu-m
accepístis a nobis, quómodo opórteat vos
ambuláre et placére Deo, sic et ambulétis,
ut abundétis magis. Scitis enim quæ
præcépta déderim vobis per Dóminum
Jesum. Hæc est enim volántas Dei,
sanctificátio vestra: ut abstineátis vos a
fornicatióne, ut sciat unusquísque vestrum
vas suum possidére in sanctificatióne et

集祷文

神よ、御身は、われらの力無きを見給うにより、われらの内と外とを守りたまえ。こうしてわれらの身体は、すべての災いから防がれ、心はすべての邪念から浄められるであろう。

神として……

書簡

兄弟たち、主イエスに結ばれた者として、あなた方をお願いし、また勧めます。神に喜んでいただくためにどのように歩まなければならないか、あなた方がわたしたちから学んだとおりに、いや、今そのとおりに歩んでいますから、その歩みをますます完全なものにしてください。主イエスによって、わたしたちがどのような指示を与えたか、あなた方は知っています。あなた方が聖なるものとなること、これを神はお望みです。すなわち、みだらなことを避け、あな

honóre; non in passióne desidérii, sicut et Gentes, quæ ignorant Deum:et ne quis supergrediátur neque circumvéniat in negótio fratrem suum:quóniam vindex est Dóminus de his ómnibus, sicut prædiximus vobis et testificáti sumus. Non enim vocávit nos Deus in immundítiam, sed in sanctificatióne: in Christo Jesu Dómino nostro.

詩編 24.17-18

TRIBULATIÓNES cordis mei dilatátæ sunt: de necessitatibus meis éripe me, Dómine.

V. Vide humilitátem meam et labórem meum: et dimítte ómnia peccáta mea.

詩編 105.1-4

CONFITÉMINI Dómino quóniam bonus: quóniam in sæculum misericórdia ejus. V. Quis loquétur poténtias Dómini: audítas fáciat omnes laudes ejus? V. Beáti qui custódiunt judícium et fáciunt justítiam in omni témpore. V. Memento nostri, Dómine, in beneplácito pópuli tui: vísitá nos in salutári tuo.

マタイ 17.1-9

IN illo témpore: súmpsit Jesus Petrum, et Jacóbum, et Joánnem fratrem ejus, et duxit illos in montem excélsium seórsum: et transfigurátus est ante eos. Et resplénduit fácies ejus sicut sol: vestiménta autem ejus facta sunt alba sicut nix. Et ecce apparuérunt illis Móyses et Elías cum eo loquéntes. Respóndens autem Petrus, dixit ad Jesum: Dómine, bonum est nos hic

た方一人ひとりが、自分の体を聖なるものとして、畏敬の念をもって制することを弁え、神を認めない異邦人のように、情欲の衝動に身を任せはなりません。また、そのようなことで自分の兄弟の権利を犯したり、欺いたりしてはなりません。なぜなら、あなた方に前から言いかせ、断言しておいたとおり、主はこれらすべてのことに報復なさるからです。実に、神がわたしたちを招いてくださったのは、わたしたちに汚らわしいことをさせるためではなく、わたしたちを聖なるものとするためです。

昇階唱（聖歌隊が歌う）

私の憂いを取り除きたまえ。

私のみじめさを顧み、私の努力を認め給え、私の罪の許しを与えたまえ。

詠唱（聖歌隊が歌う）

主をほめたたえよ。主は慈悲なる者、そのあわれみは永遠なるもの。

誰が、主のみいずの行い給うたすべての技を語れようか。誰が、その誉れをすべて聞かせられようか。

公平を守り、常に正義を行う者は、幸いである。主よ、御民への愛においてわれらを記憶し、救いに下りたまえ。

福音書

その時、イエスはペトロとヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山にお登りになった。その時、彼らの見ている前でイエスの姿が変わった。顔は太陽のように輝き、衣は光のように白く光った。すると、彼らの前にモーセとエリヤが現れて、イエスと語り合っていた。ペトロが口を挟んで、イエスに言った、「主よ、わたしたちがここにいるのは、素晴らしいことです。お望みなら、わたしはここに三つの仮の庵

esse: si vis, faciámus hic tria tabernácula, tibi unum, Móysi unum, et Elíæ unum. Adhuc eo loquente, ecce nubes lúcida obumbrávit eos. Et ecce vox de nube, dicens: Hic est Fílius meus diléctus, in quo mihi bene complácuí: ipsum audíte. Et audiéntes discípuli, cecidérunt in fáciem suam, et timuérunt valde. Et accéssit Jesus, et tétigit eos, dixítque eis: Súrgite, et nolíte timére. Levánt es autem óculos suos, néminem vidérunt nisi solum Jesum. Et descendéntibus illis de monte, præcépit eis Jesus, dicens: Némini dixéritis visiónem, donec Fílius hóminis a mórtuis resúrgat.

詩編 118.47-48

MEDITÁBOR in mandátis tuis, quæ diléxi valde: et levábo manus meas ad mandéta tua, quæ diléxi.

SACRIFÍCIIS præsentibus, Dómine, quæsumus, inténde placátus: ut et devotióni nostræ proficiant et salúti. Per Dóminum.

VERE dignum et justum est, æquum et salutáre, nos tibi semper, et ubíque grátias ágere: Dómine sancte, Pater omnípotens, ætérne Deus: Qui corporáli jejúnio vítia cómprimis, mentem élevas, virtútem largírís, et præmia: per Christum Dóminum Nostrum. Per quem majestátem tuam laudant Angeli, adórant Dominatiónes, tremunt Potestátes. Cæli, cælórúmque Virtútes, ac beáta Séraphim, sócia

を造りましょう。一つはあなたのため、一つはモーセのため、一つはエリヤのために」。ペトロがまだ言い終わらないうちに、光り輝く雲が彼らを覆った。すると、雲の中から声がした、「これはわたしの愛する子、わたしの心になう者、彼に聞け」。弟子たちはこれを聞いて倒れ伏し、非常に恐れた。イエスは近づいて、彼らに触れて仰せになった、「起きなさい、恐れることはない」。彼らが目を上げてみると、イエスのほかには、誰も見あたらなかった。一同が山を下りるとき、イエスは彼らにお命じになった、「人の子が死者の中から復活するまでは、今、見たことを誰にも話してはならない」。

奉納唱（聖歌隊が歌う）

私は、熱烈に主の掟を愛し、実行し、主の掟のほうへと手を伸べ奉る。

密唱

主よ、願わくは、今のいけにえに和やかな御目をそそぎ給え。これが、われらの信心を増し、救けを得させるもととならんことを。神として……。

叙唱（四旬節）

聖なる主、全能の父、永遠の神よ、われらが、いつも、どこにても、主に感謝をささげるのは、実にふさわしく、正しいことであり、われらの義務と救いである。なぜなら、御身は、われらの主、イエズス・キリストによって、われらに、身体を摂制することにより、邪欲をおさえさせ、心を上げさせ、徳とむくいとを与え給う。かれによって、天使らは、みいずをほめたたえ、主天使は礼拝し、能天使はふるえおののく。天と天の力天使と、福なる熾天使は、共によるこ

exultatióne concélebrant. Cum quibus et nostras voces, ut admítte júbeas, deprecámur, súpplíci confessióne dicétes:

詩編 5.2-4

INTÉLLIGE clamórem meum: inténde voci oratiónis meæ, Rex meus et Deus meus: quóniam ad te orábo, Dómine.

SÚPPLICES te rogámus, omnipotens Deus: ut, quos tuis réficis sacraméntis, tibi étiam plácitis móribus dignánte deservíre concédas. Per Dóminum nostrum.

び、それをたたえ奉る。願わくは、かれらの声に、われらの声をも交えさせ給え。われらは、深く礼拝しつつ、こう歌うであろう。

拝領唱（聖歌隊が歌う）

私の叫びに御耳をとどめ、私の祈りに御心を傾けたまえ。わが神よ、わが王よ、私は御身に祈ろうと望み奉る。

聖体拝領後の文

全能の神よ、われらは、ひれ伏して願い奉る。御身が秘蹟をもって強めたもうた人々に、思召しにかなうふさわしい生活を行わせ、御身に奉仕しうる恩寵をも与えたまえ。神として……。

※日本語訳は福音書及び書簡を除き、バルバロ『毎日のミサ典書』より引用。福音書及び書簡の日本語訳はフランシスコ会聖書研究所訳注『聖書』（2011年）より引用。

次回のミサのご案内

日時：4月20日（日）14時30分より（13時30分開場）

場所：聖パウロ修道会 若葉修道院 聖堂にて

ウナ・ヴォーチェ・ジャパン（Mail:info@uvj.jp URL: <http://uvj.jp>）